



猫の室内飼育の すすめ



猫にとって
外は危険が
いっぱい!



室内飼育のメリット

-  **交通事故**にあわない
-  **感染症**にかかる危険が少ない
-  ご近所の庭での猫の糞尿やいたずらによる**トラブル**が起こらない
-  **虐待**などの被害にあうことがない
-  **迷子**にならない

➤ **結果的に長く生きられます!**

人も猫も楽しく暮らしていくために、
猫は室内飼育をしましょう

猫の飼い主の方へのお願い



不妊・去勢手術を受けさせましょう

猫は繁殖力の強い動物です。繁殖を望まない場合は必ず不妊・去勢手術をしましょう。病気（子宮蓄膿症、精巣腫瘍、乳腺腫瘍など）やストレスを予防する効果もあります。オスの去勢については「尿による臭いつけ（マーキング行動）」の減少効果もあります。



猫にとって快適な室内環境で飼育しましょう

● トイレ

猫は非常にきれい好きです。大きめのトイレに専用の砂を入れておきましょう。

● 上下運動と入り組んだ動き回れる空間

猫がエネルギーを発散できるように上下運動や入り組んだ動き回れる空間をつくと、問題行動の予防になります。

● 外を眺める場所

安全な場所から窓の外を見えるという刺激が与えられ、「退屈」を感じにくくなります。

● 安心してくつろげる場所

柔らかな布の上、暖かな場所を好みます。

● 隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。驚いた時に猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。

普段使いのケージなどは災害時や入院時にも役に立ちます。

● 爪とぎ

猫の爪とぎは習性です。家具や柱に爪を研がないように、専用のものを用意しましょう。

● 飼い主とのコミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がありません。その分飼い主が毎日話しかけたり、なでたり、おもちゃを使って遊んだりする時間を作りましょう。



もしもの時の迷子札

万が一、外に逃げてしまった時のために、連絡先を記入した迷子札をつけた首輪やマイクロチップを装着しておきましょう。